

令和4年度

水道事業経営研究会

現在、我が国の地方公共団体の水道事業を取り巻く経営環境は、急速な人口減少等に伴うサービス需要の減少や保有する施設の老朽化に伴う更新需要の増大などにより一層厳しさを増しています。

こうした状況を踏まえ、国は各地方公共団体に対し「経営戦略」「水道広域化推進プラン」等の作成やコンセッション方式をはじめとする一層のPPP/PFIの推進を促していますが、各地方公共団体単独では、専門職員が不足しており、将来に備えた水道事業経営の改革に取り組むことが困難な状況にあります。

そこで、滋賀大学では、公営企業、公会計、PFIの専門家や水道事業関係の民間事業者等による共同研究会を立ち上げ、これからの水道事業経営のあり方について、研究しています。

当研究会は、ご関心のある地方公共団体水道部局の方のご参加をお待ちしております。また、フィールド調査にご協力いただける自治体を募集しております。ご協力いただける自治体は是非、滋賀大学社会連携センターまでご一報ください。

令和4年度研究テーマ

全国の自治体の水道事業における職員の採用、研修、人事評価、定員管理、配置、ジョブローテーション、アウトソーシング、業務の改革の現状と課題、今後の方向性について

令和5年1月 研究成果発表会 開催予定

参加費
無料

【日時】 令和5年1月27日（金）13：30～16：00
（第9回行政経営改革塾内で成果発表を行います）

【会場】 オンライン（Zoom）

【対象】 地方公共団体の水道部局等の職員

※参加予約いただいた自治体（事業体）に後日ZoomのURLと資料等をお送りします。

◆ 主催・コーディネーター ◆

滋賀大学 経済学部 教授/社会連携センター長 横山幸司

◆ 協力 ◆

株式会社 日水コン